

著者訪問

## ファイリングと

## 日本酒の伝道師に

## 小野裕子さん

大掃除の後、外見はうまく収ま  
っているけど、どこに何があるの  
かわからないことはないだろう  
か。それはつまり、整頓されただ

けで、整理された状態までは到達  
していいのである。

そうした整理整頓のプロ（ファ  
イリング・コンサルタント）とし

て、企業等を相手  
にファイリング・  
システムを導入す  
るのが小野裕子さ  
んだ。本書ではオ  
フィスから家庭ま  
で、様々な場面で  
使えるファイリン  
グのポイントを教  
えてくれる。

溜まってしまっ

た大量の文書に対して、「いつで  
も、誰でも、迅速に必要なものが  
取り出せる」ことがファイリング  
のよさ。オフィスの空間的、美的  
効果から業務の効率化までを生み  
出す。そのためには、「共有化し、  
私物化をやめ、いらぬものを捨  
てる。そして、いつ捨てるのか、  
いつ倉庫にもっていくのかとい  
う、流れをもたせること」が必要  
だと言う。

そして、こうしたファイリング  
は、ビジネスシーンだけのものでは  
ないと話す。

「親が子どもに残したい思いな  
ど、伝承やコミュニケーションに。  
また、例えば集めただけになりが  
ちなパンフや切り抜きをファイリ  
ングして整理することで、隠れて  
いた自分の興味・関心に気づいた  
り、考えがまとまったり、自分の  
やりたいことがわかったり、発想  
が広がっていくのです」

日本では知られていないが、アメ  
リカではクラター・オーガナイザ  
ーという、ビジネスも家庭もひっ  
くるめた整理ビジネスがあり、小  
野さんは日本で、その新しいビ  
ジネスモデルをつくらうと奮戦し  
ている。

「（単なる収納ではない）『整理』



「夢をかなえるファイリング」

法研  
一三六〇円

という一つの考え方・姿勢をもっ  
ていけば、家庭や、就職・結婚と  
いったライフステージなど、どん  
なシーンにもファイリングは応用  
できると思っています」

全国を飛び回る小野さんはしか  
し、仕事人間なわけではない。ス  
ケジュールをファイリングで管理  
し、蔵元を訪れたり、利き酒師の  
資格を持つというほど好きな日本  
酒では、おいしい地酒を広める立  
ち飲みバーを開くのが夢だとか。

小野さんが目指すのは、「昼間  
はファイリングの伝道師、夜は日  
本酒の伝道師」なのである。

（取材／本誌・楢垣 健）